進 路 通 信

２０２１.１２．８　№8

進路指導部発行

推薦誓約書

来週 15 日から 16 日にかけて、入試相談が行われます。三年の学年職員で、三中生が推薦受験を希望している私立高校に訪問します。

入試相談で Ａ 推薦やＢ推薦がＯＫされると、その私立高校の合格可能性が高くなります。しかし、「推薦ＯＫ＝合格」ではありません。入試相談は校長先生の名前で人物保証をして行うものです。入試相談は三中と私立高校の信頼関係の上で成り立っています。入試相談でＯＫをもらった場合には、その信頼を裏切らない行動が求められることは当然です。卒業までだけでなく、高校入学後も信頼を裏切る行動があると、三中と私立高校の信頼関係が揺らぎ、後輩たちにも迷惑をかけることになります。来週 13 日には『推薦誓約書』が配布されます。署名、捺印することによって、もう一度そのことを確認しましょう。
（提出締め切りは 12/21 です。期限厳守で提出してください。）

もしも入試相談の結果、推薦受験ができないという結果が出た場合には、至急その後の対策を考える必要があります。その場合には担任から連絡をします。明日 15 日から 16 日にかけては、下校後もなるべく自宅で学習するようにしてください。塾や模試などで外出する場合は、保護者の方が控えていてくださると助かります。

なお入試相談で特に問題がなければ、結果のお知らせは原則として 17 日になります。

推薦入試に向けて

進路通信 6 号、そしてクラスで担任からも伝えていますが、募集要項は手元に準備できているでしょうか。出願日や出願方法、期日、試験内容や出願に必要な書類、推薦書など、あらゆる情報が詰め込まれています。（パンフレットがデジタル版で出ている学校もあるので、HP を確認してみてください。）保護者任せにするのではなく、自分でもしっかりと熟読をして、準備が進められると良いですね。

『調査書』や『推薦書』は、中学校で担任が記載するものなので、誰のものか分かるように募集要項の表紙などに名前を書いて、担任の先生に渡しましょう。

もしも、募集要項を読んでいて分からないこと、心配なことがあれば、要項を持って担任の先生に相談をしましょう。気付いたら出願が目前に迫っていた、等とならないように、余裕をもって準備をし、受験勉強に専念できると良いですね。

特に、複数校受験する予定がある場合は、以下の点に注意してください。

- 出願日や締め切りの確認
- 受験日がほかの学校と重なっていないか
- 受験日程が複数にわたる場合、受験希望日を正しく選択できているか
- 出願コース名が間違っていないか

（これは、1 つの学校のみ受験の場合にも当てはまりますね。）